

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 2025年春闘要求書の回答等について

交渉日時 令和7年4月28日(月) 15時30分～17時00分
交渉場所 職員会館2階 大会議室
交渉出席者 当局側 川口副市長 秋元市長公室長 柏木市長公室副部長 岡野人事課長
野口人事課副課長 佐藤人事研修係長 加島給与係長
組合側 福田執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計11人

概要	2025年春闘要求書の回答書提出等を行った
組合の主張	<ul style="list-style-type: none">① ラスパイレス指数が高いことを問題視するが、全国的な人材難の中において、ラスパイレス指数に縛られるべきではない。初任給日本一を謳って応募者が急増した自治体もある。② この間、若年層は民間との競争を考えて一定の賃上げがされているが、中高齢層にとっては物価上昇に見合った賃上げになっていない。また、再任用職員の処遇にも課題がある。③ 特に現業職場など、高齢層の働き方にも課題がある。高齢職員に若手と同じ体力を求めることは難しく、かといって現場の配慮だけでは若手中堅職員の負担が大きくなる。また、定年引上げにより高齢職員は今後さらに多くなる。④ 今年度も欠員が生じている。全国的な人材難の現状においては、人材確保のために抜本的な方針の転換や新たな手法を考える必要があるのではないか。
当局の主張	<ul style="list-style-type: none">① 予算の中で人件費の占める割合は決して少なくない。人件費が膨らめば他の施策に支障を来す可能性もある。一方で人材確保の問題は確かに大きく、特に民間企業は新卒初任給に重きを置いており、そういった面から民間に人材が流れていく現状は課題。② 物価上昇は全年代に等しく影響がある中で、そういった思いを持たれることは理解できる。今後の人事院勧告等を注視しつつ、検討したい。③ 現に清掃や消防職場においては、職務分担等で高齢職員に一定の配慮をしているものの、今後更に高齢層が多くなることを考えると、前もっての方策や対応を考える必要がある。④ 民間は初任給の大幅引き上げなど、民間ならではの大胆な手法で人を集めている。そのような中で、働き方や福利厚生も含め、何ができるかをしっかり考えていきたい。